

# 防音扉施工手順

平成 22 年

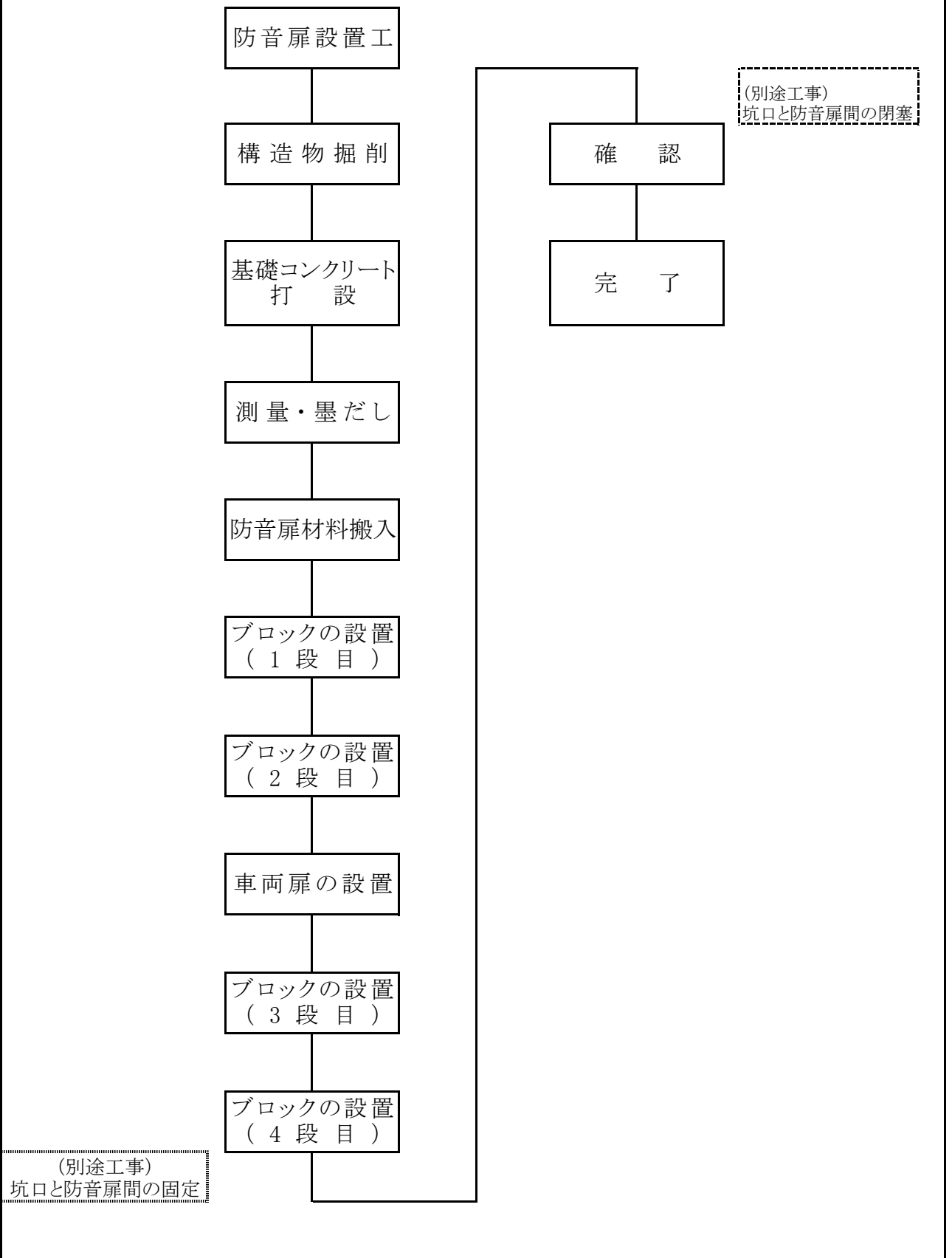
目

次

1. 防音扉設置詳細フロー .....	1-1
2. 防音扉施工手順(設置) .....	2-1

※解体は設置の逆手順とする。

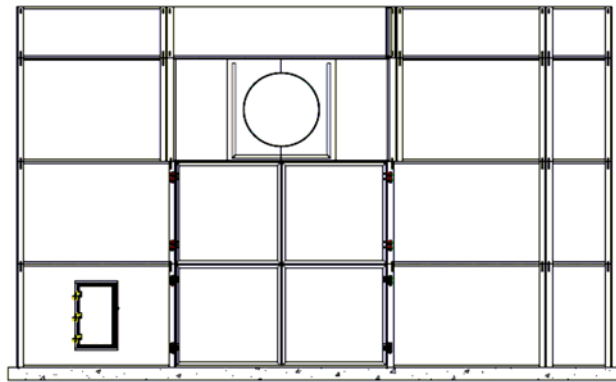
# 防音扉施工手順(設置)



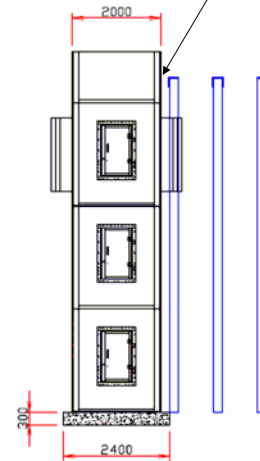
防音屏設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注意点・問題
防音屏設置準備工	(別途工事)		
基礎コンクリート掘削	現地盤から30cm下げて掘削・床付けを行う。	本線センターからの離れ及び坑口からの離れを確認し床付け高さチェックを行う。	基礎コンクリート(30cm)の厚み
基礎コンクリート打設	(別途工事) ・両サイド縦・横位置・基礎の高さ確認 ・車両用固定用箱抜き	・本線センターからの離れ・均しコンクリートの天端の高さチェックを行う。 ・車両屏の固定ピン差し込む為の箱抜きを設置	レベリングを確実にする。(防音壁の据付の時に時間がかかる。)
測量・墨だし	(別途工事) 防音屏両サイド縦・横位置・基礎の高さ確認	本線センターからの離れ・均しコンクリートの天端の高さチェックを行う。	

正面図



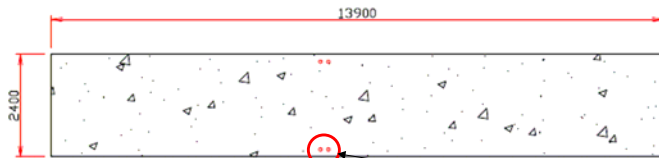
側面図



20cm程度離す

トンネル支保工

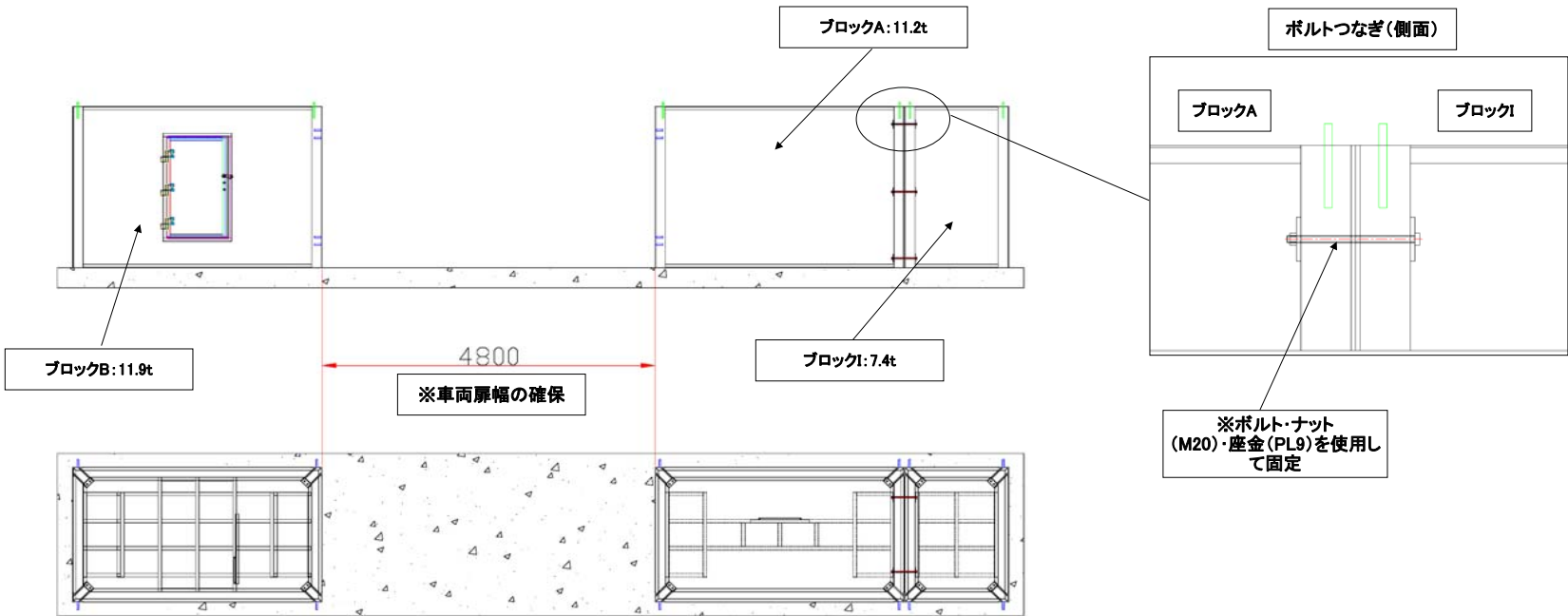
基礎コンクリート平面図



落としピン用箱抜きポイド  
(Φ75程度)

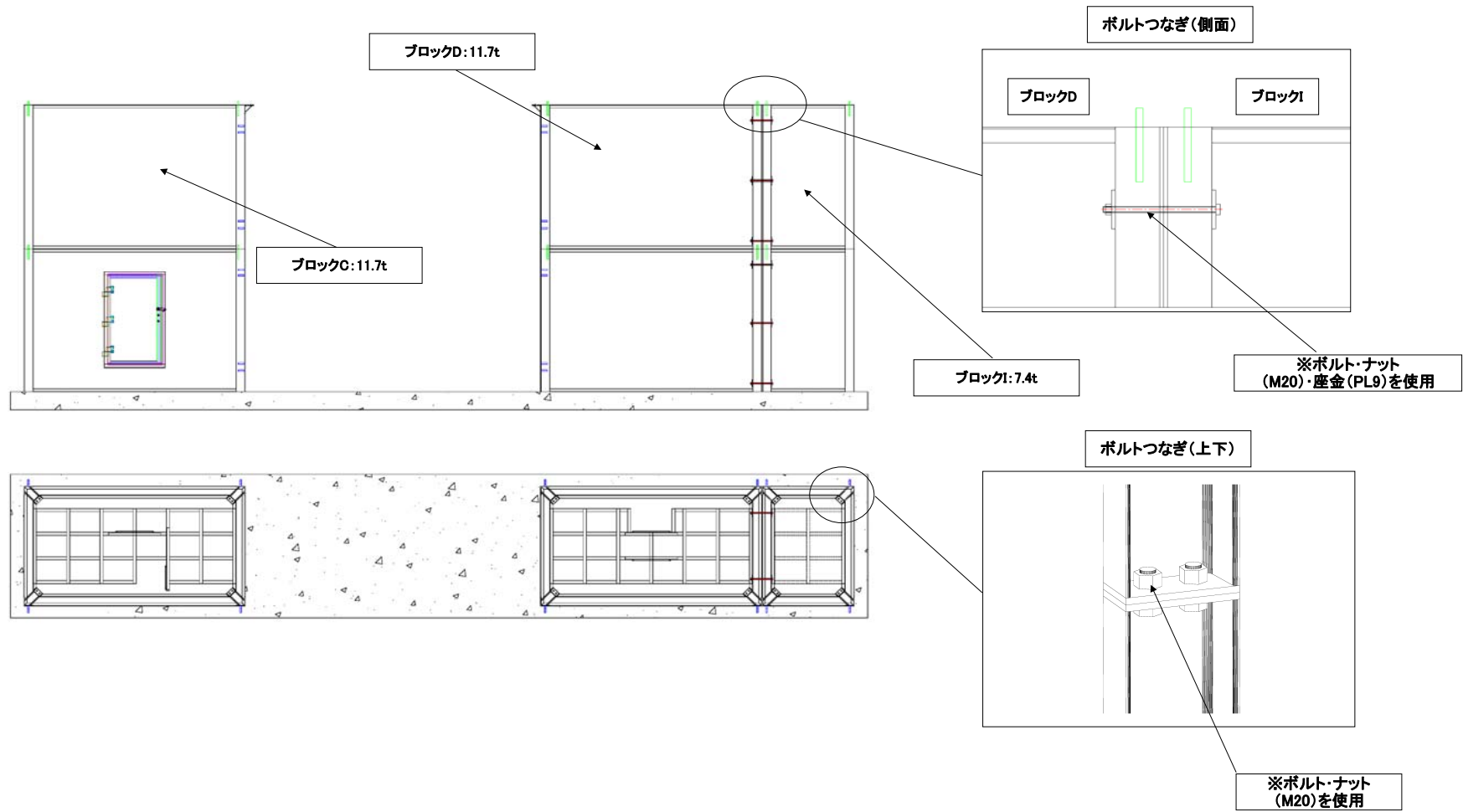
防音扉設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注意点・問題
各ブロックの設置	ブロックの設置(1段目)	①クレーンにより各ブロックを所定の位置に設置。 ②所定の位置に設置後プレートで高さの調整をする。 ③ブロック側面をボルトで固定。	①クレーン作業時の注意点 1) 組立作業に際し、保護具の着用(ヘルメット・安全带)及び吊具の点検をする。 2) 各ブロックの重量を事前に把握し、クレーン吊能力等を考慮し配置する。 3) 吊り上げる時は4点吊を原則とし、玉掛けを確実に行う。 4) 作業指揮者はクレーン・据付箇所の作業員が直接見える場所から合図を行う。 5) 吊荷時は介錯ロープを取付け、慎重に据付位置に移動させる。 6) 作業箇所はヤードが狭いため、作業員が吊荷の下に入らないよう注意する。 ②高さ調整時の注意点 1) 鋼材を持ち上げた際には、手足をブロックの下に入れない。



防音扉設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注意点・問題
各ブロックの設置	ブロックの設置(2段目)	①クレーンにより各ブロックを所定の位置に設置。 ②ブロック側面をボルトで固定。 ③ブロック上下をボルトで固定。	①クレーン作業時の注意点 1)組立作業に際し、保護具の着用(ヘルメット・安全带)及び吊具の点検をする。 2)各ブロックの重量を事前に把握し、クレーン吊能力等を考慮し配置する。 3)吊り上げる時は4点吊を原則とし、玉掛けを確実にを行う。 4)作業指揮者はクレーン・据付箇所の作業員が直接見える場所から合図を行う。 5)吊荷時は介錯ロープを取付け、慎重に据付位置に移動させる。 6)作業箇所はヤードが狭いため、作業員が吊荷の下に入らないよう注意する。 ②・③ボルト締め付け時の注意点 1)高所での作業を行うので、保護具の着用(ヘルメット・安全带)をする。 2)ボルト・ナット等の飛来災害防止の為上下作業の無いようにする。



防音扉設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注意点・問題
車両扉の設置	車両扉の設置(8枚)	<p>①ベアリングの設置 (ブロック側ヒンジ部にセットする。)</p> <p>②車両扉の設置 (所定の位置に扉を設置後、ピンを差込み固定する。) (切羽側を先に設置をする。)</p> <p>③上下扉の固定 (固定プレート・ボルト・ナットにて締結固定する。)</p>	<p>①・②・③車両扉設置の注意点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 組立作業に際し、保護具の着用(ヘルメット・安全帯)及び吊具の点検をする。</li> <li>2) 各ブロックの重量を事前に把握し、クレーン吊能力等を考慮し配置する。</li> <li>3) 高所作業者を用いて作業をする為、特に転落の無いようにする。</li> <li>4) 吊り上げる時は2点吊とし、吊具としてアイボルトを使用する。 アイボルトは完全に締め込みを行う。</li> <li>5) 作業指揮者はクレーン・据付箇所の作業員が直接見える場所から合図を行う。</li> <li>6) 吊荷時は介錯ロープを取付け、慎重に据付位置に移動させる。</li> <li>7) 作業箇所はヤードが狭いため、作業員が吊荷の下に入らないよう注意する。</li> </ol>

防音屏設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注意点・問題
各ブロックの設置	ブロックの設置(3段目)	①クレーンにより各ブロックを所定の位置に設置。 ②ブロック側面をボルトで固定。 ③ブロック上下をボルトで固定。	①クレーン作業時の注意点 1) 組立作業に際し、保護具の着用(ヘルメット・安全带)及び吊具の点検をする。 2) 各ブロックの重量を事前に把握し、クレーン吊能力等を考慮し配置する。 3) 吊り上げる時は4点吊を原則とし、玉掛けを確実に行う。 4) 作業指揮者はクレーン・据付箇所の作業員が直接見える場所から合図を行う。 5) 吊荷時は介錯ロープを取付け、慎重に据付位置に移動させる。 6) 作業箇所はヤードが狭いため、作業員が吊荷の下に入らないよう注意する。 ②・③ボルト締め付け時の注意点 1) 高所での作業を行うので、保護具の着用(ヘルメット・安全带)をする。 2) ボルト・ナット等の飛来災害防止の為上下作業の無いようにする。
<p>ブロックE:11.3t      ブロックF:16.0t      ブロックE:11.3t      ブロックG:7.4t</p> <p>Fブロック柱材</p> <p>C・Dブロック受け材</p> <p>※ボルト・ナット(M20)を使用</p>			



防音扉設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注意点・問題
------	---------	------	--------

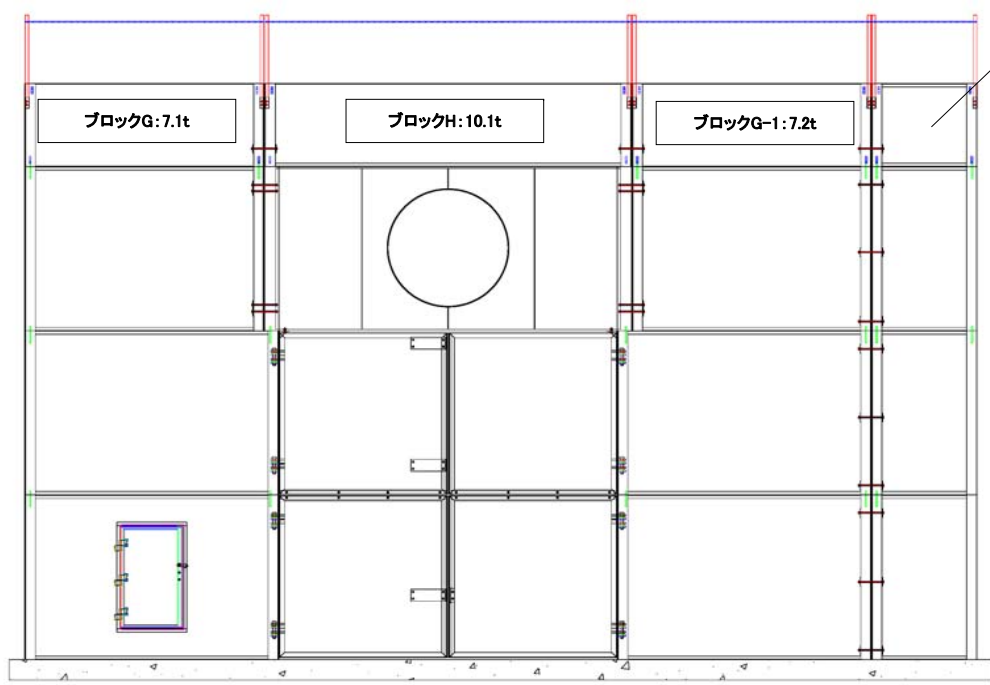
各ブロックの設置

ブロックの設置 (4段目)

- ①親綱・支柱材の組立て  
 ブロック吊上げ前に地組みを行う。  
 ②クレーンにより各ブロックを所定の位置に設置。  
 ブロック「G-1」を先行して組立てを行う  
 ③ブロック上下をボルトで固定。  
 ④ブロック側面をボルトで固定。

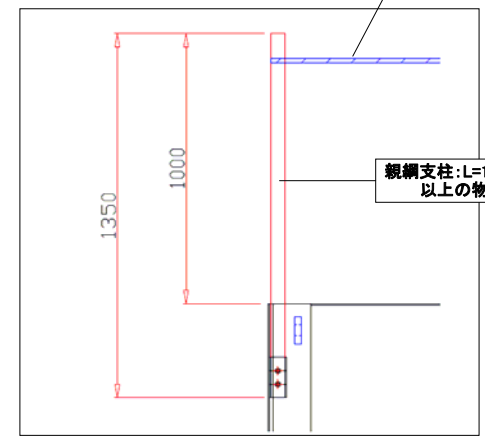
- ①親綱・支柱材の組立ての注意点  
 1) 組立時周囲の確認を行い声を掛け合い西行を行うこと。  
 ②クレーン作業時の注意点  
 1) 組立作業に際し、保護具の着用(ヘルメット・安全带)及び吊具の点検をする。  
 2) 各ブロックの重量を事前に把握し、クレーン吊能力等を考慮し配置する。  
 3) 吊り上げる時は4点吊を原則とし、玉掛けを確実に行う。  
 4) 作業指揮者はクレーン・据付箇所の作業員が直接見える場所から合図を行う。  
 5) 吊荷時は介錯ロープを取付け、慎重に据付位置に移動させる。  
 6) 作業箇所はヤードが狭いため、作業員が吊荷の下に入らないよう注意する。

- ②・③ボルト締め付け時の注意点  
 1) 高所での作業を行うので、保護具の着用(ヘルメット・安全带)をする。  
 2) ボルト・ナット等の飛来災害防止の為上下作業の無いようにする。

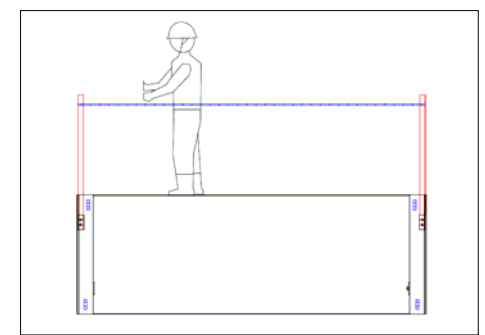


ブロックJ: 4.4t

親綱



4段目組立て時



防音屏設置詳細フロー

作業工種	位置・主な作業	作業手順	注 意 点 ・ 問 題
	坑口と防音屏の開口部の閉塞	<ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル坑口と防音屏の隙間を土嚢・キースン等で閉塞する。 (確実に開口部をなくさない、音漏れの原因になる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高所作業となるため、足場の確保及び安全帯を使用し作業する。</li> <li>狭い箇所での作業になるので、上下作業を禁止すること。</li> </ul>
	付属品の取付	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴムマットの取付 (切羽からの距離が近い場合のみ取付。)</li> </ul>	
	最終確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボルト類の付け忘れ・締め忘れがないかチェックする。</li> <li>やり残しの作業がないか確認する。</li> </ul>	
完 了			